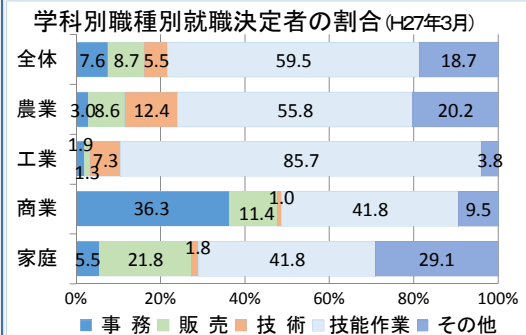
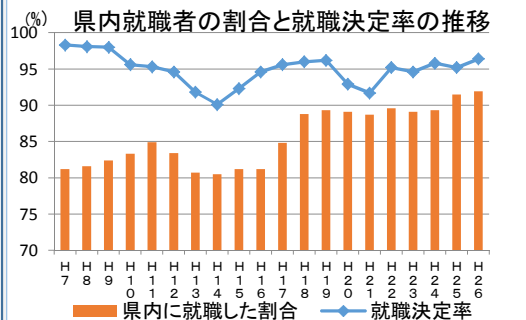


県立高等学校における「滋賀を支える職業人」の育成

現状

○高校卒業者の就職者のうち、県内で就職した者の割合は、91.9%



県内に就職する割合は高いものの学科で学んだ関連職種への就職は学科により差がある。

○少子高齢化の中で、滋賀県も人口減少局面に
(2014年10月1,416,500人
→2050年には約130万人)

目指す人材

- 課題解決に向けた思考力・判断力・表現力を備えた人材
- イノベーションを創出し、新たな価値を創造できる力を持った人材
- 専門学科等で習得した高い技術力や販売力を実社会で活用できる人材
- 情報発信力や連携力などに必要なコミュニケーションスキルを身に付けた人材

滋賀を支える職業人

地域の第一線で活躍できる人材

地域に貢献でき、活躍できる自分を知る

高等学校

起業家精神の醸成

社会人基礎力の育成

高度な専門技能の習得

県立学校キャリア形成支援事業

【就業体験】

農業法人や製造・建設業、事務・販売職、福祉施設等専門教育関連企業 等

専門高校プロフェッショナル人材育成事業

【商品販売】

近江商人再生プロジェクト、農産物生産販売 等

【地元食材を活用した商品開発(滋賀ブランド)】

忍者バーガー、アドベリー、近江肉牛しぐれ煮、近江野菜のうま飯ディップ 等

【地元の活性化につながる取組】

環境こだわり米の栽培、伝統作物アオバナの栽培や商品開発、絶滅危惧種ムラサキの栽培 等

【新たな産業の創造】

高校生レストラン(六次産業化) 等

【地元に参加する取組】

防災かまどベンチの設置、河川の水質保全 等

【高度な資格に挑戦】

技能検定2級、日商簿記検定1級、情報処理技術者試験、税理士試験 等

地域で自分を知る

中学校

将来の生き方を考える

勤労観の育成

地域を知る

小学校

社会性、自主性、自立性の育成

地域の子どもを地域で育てる

グローバル化への対応

○海外実習

海外でビジネスを経験
(海外インターンシップや海外での商品販売)

新しいビジネスモデルの構築

○地場産業の再興と六次産業化

永源寺の政所茶を農業高校が栽培し、その茶葉を加工する機械を工業高校が製作、農業高校でその機械を使い商品開発したものを、商業高校が販売する農工商が連携した取組

○地元食材を生かした商品開発

地域と連携した新たな商品の開発

新エネルギーへの対応

○再生可能エネルギー装置の開発

太陽光パネルの設置技術の習得や電源制御技術の習得

ICT技術の活用

○ICTを用いた新技術の開発

滋賀の観光向けアプリの開発
(GPSやAR(拡張現実)の技術を利用)

○ネットビジネスの研究

生徒開発の商品や特産品のネット販売の研究

○滋賀ブランドの効果的な情報発信の研究

滋賀の観光情報や特産品、専門高校の取組などを国内外に効果的に発信する技法についての研究

これまでの取組

新たな取組および取組の方向性